

1 Track01：『もう無理。。。処女の限界……。』

左耳・通常		
正面（左横から顔を覗き込みながら）		
正面（左耳・通常）		
左耳（マイクに顔は向けず横並び）		
	(hm _r _0002) ほむる「お姉ちゃん、へんな」と呟ひてなかつたよね? 聴いてて、処女臭い発言とかなかつた?~?~.」	
	(hm _r _0003) ほむる「……もう、頼りないなあ。 いつ訊いても『わからない』ばかりじゃん。 こつちは真剣に悩んでるのに……」「	
	(hm _r _0004) ほむる「そりやあ、お姉ちゃんも浅はかだつたと思つよ~.」	
	(hm _r _0005) ほむる「たまたま出演したラジオ番組で、ぶつちやけキャラを やつてみたら、それがウケちゃつたせいで、 こんなことになつちやつて……」	
	(hm _r _0006) ほむる「リスナーさんからだけじゃなく、業界の関係者からも、 シモネタOKな声優だと思われちやうしだ」	
	(hm _r _0007) ほむる「……男の人と付き合つた」ともないのに、 まさか自分が、男性の性的な悩みを解決する番組を 任されるなんて……」	
正面（左横から顔を覗き込みながら）		
左耳（マイクに顔は向けず横並び）		
左耳・通常		
	(hm _r _0008) ほむる「んもお、笑つてないで少しは慰めてよ~。 こつそり、ラジオにお便り送つてきしるの、 知つてるんだからね?~.」	
	(hm _r _0009) ほむる「……お姉ちゃんも、がんばつて彼氏作つた方がいいのかな」	
	(hm _r _0010) ほむる「自分でも不思議なんだよね。 弟とだつたら、こうやつて普通に話せるのに、 他の男の人だと妙に身構えちやつて……」	
	(hm _r _0011) ほむる「もちろん、仕事で会う人たちとは話をしてるよ? でもそういうのつて、ビジネスモードのスイッチが 入つてるから、そもそも異性として見てないしね……」	

左耳（マイクに顔は向けず横並び）

(hm_0012) せむる「……大体さー。エロゲー声優してるの?」、
中の人はバージンでじつは、‘む’の‘む’。

(hm_0013) せむる「自分でも、どうかと思うんだよね。
ゲームの台本を読んでも、いまいち感情移入できない
といふか……」

左耳（顔を横に背けたり等動かしながら、恥じらい強めで）

(hm_0014) せむる「演じてる女の子が、主人公の、その……おちんちんを見て、
かわいいって言つたり、おつきいのが好きとか、
奥に当たつて気持ちいいとか、経験した」とないから、
ずっと、はてなマークだし……」

(hm_0015) せむる「……セックストで、そんなに気持ちいいのかな」

正面（左横から顔を覗き込みながら）

(hm_0016) せむる「そつちは……したことあるの?」
女の子と……ハツチな」と……今までカノジョができたつて
話、聞いた」とないけど……」

左耳（マイクに顔は向けず横並び）

(hm_0017) せむる「もし経験がないんだつたら、あたしたち姉弟つて、
ヤバくない? 今の子たちつて、割と学生の頃から
そういう経験しちゃうんでしょ?」

(hm_0018) せむる「あーほんと、どうしよ……」の先、ずっとああい、
シモネタ大好き声優みたいなノリでいくの、
無理そうなんだけど……」

左耳・通常

(hm_0020) せむる「ねえ、どうしたらしいと思う? お姉ちゃんも、誰かと……
エッチしてみた方がいいのかな……」

左耳（マイクに顔は向けず横並び）

(hm_0021) せむる「でも、いくら仕事のためだからって、好きでもない人と、
そういう」とするの嫌だし……うーん、悩むう……」

左耳・近め

(hmr_0022) せむる「…………おのやね。
急に「んな」と叫んで、アレだと思ひたる……」

(hmr_0023) せむる「少しだけ……おねえかく、見せしせつこひと叫んだる、

怒る。」

※SE：ガサツ！（驚いて跳ねる）

正面・遠め

(hmr_0024) せむる「…………やうひ、やんなにびりくつする。
だ、大丈夫だよ。いきなり襲いかかっただりしない。」

(hmr_0025) せむる「こんな」と頼めるの、他にいなじから……一応、ダメ元で
訊いてみようかなって思ひて……」

うつおきながら

(hmr_0026) せむる「…………やうだよな。こいつお姉ちやへども「へな」って叫んで
気持ち悪いよね」

(hmr_0027) せむる「おねんねぐを睨たのつて、
子供の頃にお風呂が一緒だつた時ぐらいいだから……
親指ぐらいの小やいサイズしか記憶にないの」

顔を上げる

(hmr_0028) せむる「でも、今は大人になつたわけだし……あの頃よりせ、
大きくなつてたり……するんでしょ……。」

うつおきながら

(hmr_0029) せむる「はあ……ゲームだつたが、よくあるハーンなんだけどなあ」

右耳に近付きたがら

(hmr_0030) せむる「こへな風にお姉ちやんが弟くんに迫つて……」

右耳・騒ぐ

(hmr_0031) せむる「…………おねんね見せてくれる。」

(hmr_0032) せむる「お姉ちやん、おひあくなつたホトナのおねえかく、
見てみたしなあ……」

正面・通常（右耳から離れながら）

(hmr_0033) せむる「 こんな感じで誘惑しなやつ。でも、さすがにゲームは
違うよな。姉弟でそんな裸を見せ合つなんて……」

※の由：ガサッ！（驚いて跳ねる）

(hmr_0034) せむる「 ……や… なんでもた驚いたの…
お姉ちゃん、何がおかしい」と叫んだ。

(hmr_0035) せむる「 ……ああ、裸を見せ合つているの。
だつて、お姉ちゃんだけねむちゃんを見せてもいいの、
するくなじ？
片方だけ、恥ずかしい思ふをやるなんじ……や」

(hmr_0036) せむる「 だから……や」、お姉ちゃんの裸も見だしてはいけない
わちろん、おじこ恥ずかしいせうひ……うそ……」

正面・近め（近付きながら）

(hmr_0037) せむる「 ……やのせつ……ダメ？

お姉ちゃんにせ、おねんちゃん見せたくなじ……？」

(hmr_0038) せむる「 ふふ。ゲームみたいに、お姉ちゃんにも裸を誘惑され
よつた勇気があればよかつたのにな……」

正面・遠め（離れながら）

(hmr_0039) せむる「 「あやね、くんな」と叫んで。
くんな昔から姉弟の仲がよかつたからして、嫌だつたよね」

正面・遠め（「ふ」のあと、マイクに背を向けながら）

(hmr_0040) せむる「 ……よしつ。お姉ちゃん、明日はゲームの収録があるから、
日本のおっしゃうを聞いてくれてありがと」

※S E：立ち去る足音

※S E：ドア開閉

※トランク2へ